2 1

3

※ は 一 要 異 転 印一月事動勤宛 の括一項届者名 欄徴日を出・番 は収か記書再号 届すら載に就し 出る四し必職の 者こ月て要者欄 にと三町事等に おに十長項がは いな日にを異特 てつま送記動別 記てで付載後徴 載いのししの収 すま間て、勤税 るすにくそ務額 。給だの先通 与さ後に知 のいにお書 支。異いに 動て記 後も載 ま を の特さ け 勤別れ な 務徴た IJ 先収宛 にを名 お希番 い 望号 な てすを 転る記 つ 勤場載 等合し i= にはて

> よ異く る動だ

特前さ 別のい

徴 勤 。

収 務

届先 出に 書お

にい 必て

収

が

あ

合

給与支払報告 に係る給与所得者異動届出書

	<b>〇</b>	別かめつ	に場合	は、す	みや	וימי	-提出し	てくたさい	<b>,</b>																			
	年	月	日	特	in 1	生 地	〒	_								#	寺別律	数収	義務	务者	指定	番号						
	+	Л	Н	給 別		T 75										5	包	名	i	番	ŧ	号						
				与支払者	名	称										j	車絡	者氏	の	係	係							
		越生町	「長 宛		(代表	者の										7	ブ に		名そ	並の	氏名							
		KZ T H	112 %	Ü	職匠	氏名													番	号	電話							
	給	与	所	得	Ŧ	者		(ア)  特別徴収	脱額 徴収	<b>以済月</b>	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額	異		動	異	動	の	異	動後	きの:	未徴						手 当 等 0 額 ( 支 打
フリガナ								(年 税	額)			(ア)ー(イ)	年	月	日	事			税	額	の			給 与	支 払	額	予定額	)
									円		円	円				1. 追		職	1.			(継続	;			円		F
氏 名																2. 軟		勤				牧 収						
			- 1) ===	S. 18-		- 41				月分 から						3. 夕 4. 县 5. 歹	ᡮ	職	3.	普:	通貨	牧 収						
	(1	月1日現在	の住所・	…必す	記載し	てくた	さい)			から						4. <u>₹</u>	Ę	欠				_	ŧ	控队	余 社	숲	#L 0±	· /- *
旧住所	越生町															6. ≰	₹社角	散		3をC 場合I	)で囲ん ま、一	しだ 活徴	1	控除保险	) 料	額	勤続	年 数
		(給与の支	払を受け	なくなっ	った後	の住	听)			月分 まで						7. 倍	主所語	矂報		収でき	きないま	里由				円		年
現住所										まで						8. (		)		傾に	つで囲 い。	んじょ	J					

1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

×

処 理 事項

## ◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)について一括徴収する場合等は、次の欄に記載してください。

一 括 徴 収 の 理 由 関動者印	□ 給 与 又 は 退	一 括	徴収	予 定 額			月書	割 額
1. 異動が 年12月31日までで、申出が	職手当等の	支払予定日	ヨごと	合 計	*	6 月	<b>\</b>	7月分以降
あったため(月日申出)	支払年月日	の徴収予	定 額	(上記(ウ)と同額)	市	0 7	71	/万万以阵
2. 異動が 年1月1日以後で特別徴収			円	円	区		円	円
の継続の希望がないため					町			
一括徴収できない理由			円		村			
(〇で囲んでください)					記			
1.5月31日まで支払われる給与若しくは退職手当等が					入			
ないため又は未徴収税額より少ないため	一括徴収した税	額は、	月分	で納入します。	欄			
2. その他 理由( )								

## 転勤等による特別徴収届出書(左欄外の注意書きを参照してください。)

月害	訓安百	円	特		-				特指	別:	徴 収定	義番	務 者 号	
/a		月分から徴収	給り物	フリガナ 名 称					連	絡	者の	係	係	
			払 義者 務						及 び	びに	氏名	並の	氏名	
	納入する			代表者の 職氏名					電	話	番	号	電話	
給 <u>.</u> 及(	与支払方法 びその期日			を希望する 機関の所 地及					経氏		責	任	者 名	